

4 Apr.							5 May							6 Jun.						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	3						1							
4	⑤	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	6	⑦	8	9	10	11	12
11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
25	26	27	28	29	30		23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
							30	31												

「新収蔵品展」
4月6日[火]—5月16日[日]

「江戸狩野派の古典学習—その基盤と広がり」(特別展示)
5月18日[火]—6月27日[日]

日本戦後美術の挑戦
—4月4日[日]

7 Jul.							8 Aug.							9 Sep.						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	1	②	3	4	5	6	7					1	2	3
4	⑤	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24	19	20	21	22	23	24	25
25	26	27	28	29	30	31	25	26	27	28	29	30	31	26	27	28	29	30		

「構図をめぐって—縦に積む／横に拡げる／奥に進む」
6月29日[火]—9月5日[日]

10 Oct.							11 Nov.							12 Dec.						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						①	①	②	③	④	⑤	⑥		⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	7	8	9	10	11	12	13	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30					26	27	28	29	30	31	
						⑳														

1 Jan.							2 Feb.							3 Mar.						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						①							①	②	③	④	⑤			①
②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29	27	28						27	28	29	30	31		
30	31																			

9月6日[月]—3月31日[木]は、設備改修工事のため休館します。



ガラスの天井から光がふりそそぐロダン館。近代フランスの彫刻家オーギュスト・ロダンの作品32点のほか、ロダン以前の代表的な作家による彫刻を展示しています。本館とロダン館をつなぐブリッジ・ギャラリーとともに、西洋の近代彫刻51点を常時鑑賞できます。

Exhibition Schedule 2021.4-2022.3

開館時間 10:00—17:30(展示室への入室は17:00まで)

夜間開館 8月14日[土]、15日[日]、21日[土]、22日[日]、28日[土]、29日[日]、9月4日[土]、5日[日] 10:00—19:00
(展示室への入室は18:30まで)

休館日 毎週月曜日(ただし、5月3日[月]、8月9日[月]は開館。)

観覧料
単位/円

区分	一般		70歳以上	大学生以下
	個人	団体		
収蔵品展	300	200	無料	無料
企画展	展覧会ごとに異なります。詳しくは、ウェブサイト、ポスター・チラシをご確認ください。			

団体は有料観覧者20名以上。企画展ご入場の方は、収蔵品展・ロダン館も併せてご覧いただけます。身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその付添者1名は、企画展・収蔵品展ともに無料でご覧いただけます。特別展示「江戸狩野派の古典学習」展は、収蔵品展の料金でご覧いただけます。

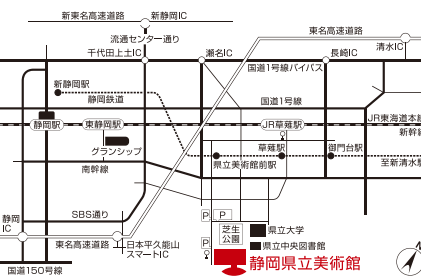
実技室イベント ————— ミュージアムショップ Tel: 054-264-8926
さまざまな体験プログラムを実施しています。展覧会カタログ、美術図書、ミュージアムグッズ等をお求めスケジュールはウェブサイトまたはパンフレット「実技室プログラムのしおり」をご覧ください。に出来ます。

無料託児サービス ————— レストラン
2021年度は休止します。喫茶、お食事が楽しめます。美術鑑賞のあいまにお立ち寄りください。

車椅子・ベビーカー ————— 友の会
インフォメーションで無料貸出いたします。常時入会受付中。詳しくは事務局にお問い合わせください。Tel. 054-264-0897

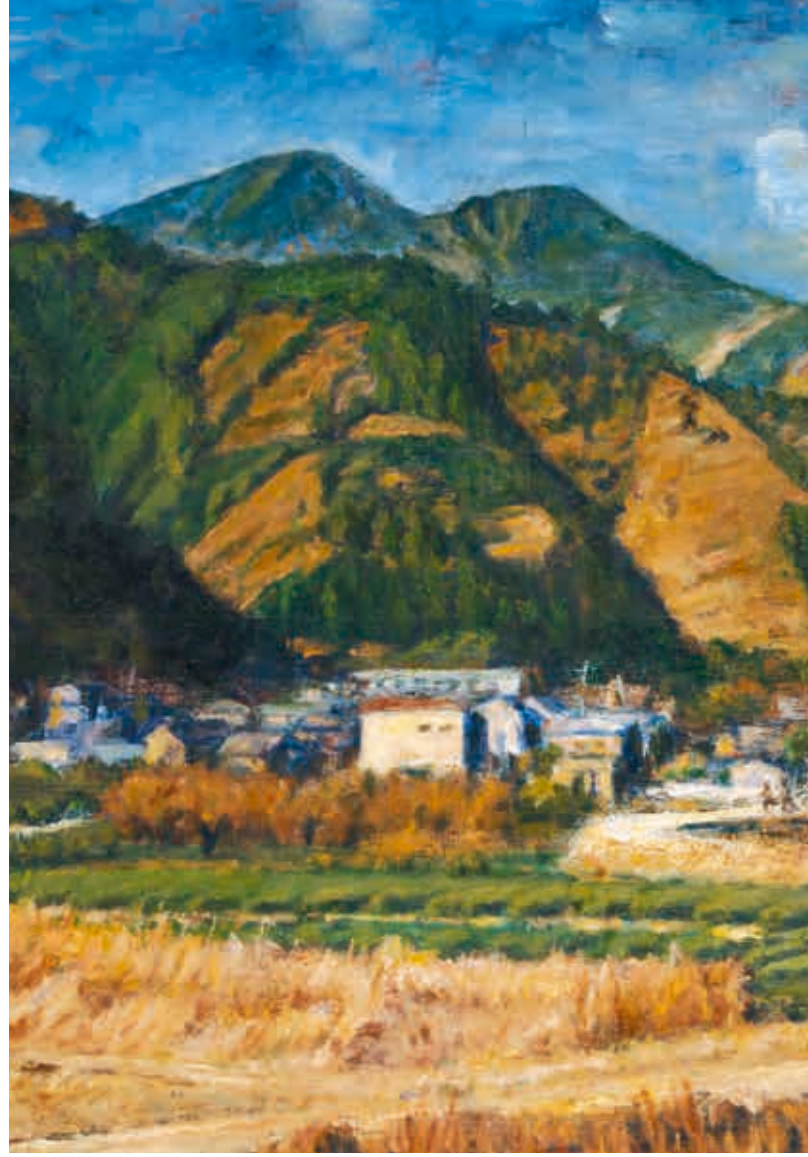
交通案内

JR「草薙駅」県大・美術館口から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分
JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分または北口から静鉄バスで約30分
JR「東静岡駅」南口からタクシーで約15分または静鉄バスで約20分
静鉄「県立美術館前駅」から徒歩約15分または静鉄バスで約3分
東名高速道路・静岡IC、清水ICから車で約25分、日本平久能山スマートICから車で約15分または新東名高速道路・新静岡ICから車で約25分。
周辺に大型バスを含めて約400台を収容できる無料駐車場があります。



お問い合わせ

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2 <http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>
総務課 Tel. 054-263-5755 Fax. 054-263-5767
学芸課 Tel. 054-263-5857 Fax. 054-263-5742



静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art

ストーリーズ～作品について学芸員が知っていること

4月6日[火]～5月16日[日]

当館が所蔵する作品は、それぞれが独自の経過をたどって、この美術館に収蔵されました。収蔵をきっかけに、学芸員として作品と直接関わる中で発見したことや、調査や研究によって明らかにできたこと—作品の背景にある人と人との出会いと交友、作品がどのような経過をたどってきたのか、作品にこめられた作者の想いなど—があります。この展覧会では、当館の所蔵品に借用作品を加えた約90点をご紹介します、学芸員が知っている、作品にまつわるストーリーを語ります。



石田徹也《燃料補給のような食事》



伊藤若冲《樹花鳥獸図屏風》(右隻)

忘れられた江戸絵画史の本流——江戸狩野派の250年

5月22日[土]～6月27日[日]



狩野永徳立信《花鳥図屏風》(日照軒コレクション)



狩野洞白愛信《西王母図屏風》(日照軒コレクション)

近年は江戸絵画人気が高く、様々な画家が紹介されていますが、江戸絵画史の本流だった江戸狩野派に関しては、将軍に仕えた一部の画家を除き、ほとんどの画家の作品が知られていません。本展では、個人コレクターの所蔵品から選りすぐった100点を超える江戸狩野派の初公開作品によって、江戸狩野派のスタイルを築いた奥絵師の作品だけでなく、民間画壇に接触し、江戸狩野派の画風に多様性をもたらした表絵師の作品にも注目し、知られざる江戸狩野派の魅力をご堪能いただけます。

企画展

国立ベルリン・エジプト博物館所蔵 古代エジプト展——天地創造の神話

7月10日[土]～9月5日[日]

古代エジプト人達は、原初の海「ヌン」から世界は生まれ、そして終末の日に再び世界は飲み込まれると信じていました。その巨大なサイクルの中で万物は、生まれ、やがて滅んでいく……そんな壮大な世界観の中に、ファラオの役割や人々の一生を位置付けていたのです。本展では、古代エジプト人の「天地創造と終焉の物語」を、ドイツ・ベルリンにある、「ベルリン国立博物館群エジプト博物館」のコレクションから選りすぐった約130点の作品でご覧いただけます。今日もお我々をひきつけてやまない、不思議な神話の世界をお楽しみください。



《パレメチュシグのミイラ・マスク》
©Staatliche Museen zu Berlin, Ägyptisches Museum und Papyrussammlung / M. Büsing

静岡県立美術館 超名品展 風景と人間



ゴッガン《家畜番の少女》

今年の移動美術展は開館35周年記念の特別版。館長・木下直之が監修を務め、当館コレクションからとびきりの名品を選りすぐり、浜松でお目にかけます。ここでしか見られないぜいたくな超名品展、ご期待ください。

会場：浜松市美術館



《富士三保松原図屏風》(右隻)

移動美術館

収蔵品展

1. 新収蔵品展

4月6日[火]～5月16日[日]

購入により4件、寄贈により3件の作品が、新たに静岡県立美術館のコレクションに加わりました。これら新収蔵品を、関連作とともにご覧いただけます。



カール・ドービニー《川岸の風景》



ダレン・アーモンド
《LIKE LOVE WE SELDOM KEEP》
©Darren Almond



狩野栄信・養信《唐画流書手鑑》より



小栗哲郎《龍爪山下の群落》

3. 構図をめぐって——縦に積む／横に拡げる／奥に進む

6月29日[火]～9月5日[日]

「構図」の観点から当館日本洋画作品を考察します。描かれた事物の意味や背景だけでなく、画面の構造やモチーフの動きのベクトルを探ることで絵画をより身体的に味わおうという試みです。

収蔵品展

特別展示

2. 江戸狩野派の古典学習——その基盤と広がり

5月18日[火]～6月27日[日]

「忘れられた江戸絵画史の本流」展の開催を記念し、江戸狩野派の古典学習に焦点をあてた特別展示を行います。本展では、和漢の古典名画に対する多角的なアプローチによって古典様式のエッセンスを体得し、時代の潮流にあわせてその表現を刷新した江戸狩野派の古典学習の多様な実態に注目し、彼らの作品の魅力の本質に迫ります。



狩野常信《和漢流書手鑑》(個人蔵)より



狩野探幽《倣古八景図巻》(個人蔵)より



左：柏木俊一《道》
右：田村一男《北越大雪》

企画展

移動美術館

収蔵品展